

第235回

柏崎しんぎん地区内経済指標

(平成27年10月)

 柏崎しんぎん

(平成8年4月 創刊)

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,477	-0.59	-0.20	4,216	0.59	-0.16
東部地区	14,210	0.00	0.08	5,787	1.01	0.17
西部地区	10,304	-0.68	0.16	4,041	0.22	0.34
駅南地区	6,305	-0.44	-0.30	2,829	0.99	0.17
半田地区	3,701	0.27	0.10	1,418	1.43	-0.14
横山地区	5,456	-1.23	-0.05	1,972	0.66	0.45
茨目・田尻地区	7,163	1.15	0.23	2,584	2.62	0.11
荒浜地区	4,854	-1.34	-0.43	2,001	0.45	-0.34
その他地区	18,642	-2.48	-0.20	7,033	-0.59	-0.09
西山町地区	5,773	-2.56	-0.19	2,099	-1.36	-0.09
高柳町地区	1,565	-3.98	-0.69	747	-3.36	-0.92
柏崎市計	87,450	-1.00	-0.08	34,727	0.37	0.02
刈羽村	4,762	-0.89	-0.16	1,578	-0.12	0.06
小国地区(長岡市)	5,646	-2.75	-0.15	2,105	-0.37	0.04
出雲崎町	4,692	-1.71	-0.19	1,763	-0.22	-0.05
合計	102,550	-1.13	-0.09	40,173	0.29	0.02

(資料出所：柏崎市、各市町村)

○地域全体の人口動向

前年同月比は、柏崎市で▲891人(▲1.00%)、刈羽村で▲43人(▲0.89%)、小国地区(長岡市)で▲160人(▲2.75%)、出雲崎町で▲82人(▲1.71%)、全体で▲1,176人(▲1.13%)となっている。

前月比は、柏崎市で▲102人(▲0.08%)、刈羽村で▲8人(▲0.16%)、小国地区で▲9人(▲0.15%)、出雲崎町で▲9人(▲0.19%)、全体で▲98人(▲0.09%)となっている。

○世帯数

前年同月比は、柏崎市で+131世帯(+0.37%)、刈羽村で▲2世帯(▲0.12%)、小国地区で▲8世帯(▲0.37%)、出雲崎町で▲4世帯(▲0.22%)、全体で+117世帯(+0.29%)となっている。

前月比は、柏崎市で+9世帯(+0.02%)、刈羽村で+1世帯(+0.06%)、小国地区(長岡市)で+1世帯(+0.04%)、出雲崎町で▲1世帯(▲0.05%)、全体で+10世帯(+0.02%)となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎管内	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎管内	新潟県	柏崎管内	新潟県
月間有効求人	1,743		0.69		0.17	
月間有効求職者	1,414		-7.94		-3.34	
月間有効求人倍率	1.23	1.18	0.10*	0.04*	0.04*	0.00*

*印は差し引き計算

(資料出所：柏崎公共職業安定所)

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況(パートを含む全数)で、月間有効求人数が1,743人と前年同月比+12人(+0.69%)、前月比+3人(+0.17%)といずれも増加している。

月間有効求職者数は、1,414人と前年同月比▲122人(▲7.94%)、前月比▲49人(▲3.34%)といずれも減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.23倍と前年同月比+0.10倍、前月比+0.04倍と改善傾向にあり、県平均1.18倍と比べると+0.05倍となっている。

また、新規求人・求職状況(パートを含む全数)については、月間新規求人数が666人と前年同月比+43人(+6.9%)、月間新規求職者数が371人と前年同月比▲33人(▲8.2%)となった結果、月間新規求人倍率は1.80倍となり、前年同月の1.54倍と比べて0.26ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成27年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	28	6	8	195	5
共 同 住 宅	2	1	2	6	-4
事 務 所	0	-1	0	6	-2
作 業 所・工 場	2	2	2	8	5
営 業 建 物	1	-1	1	8	-8
公 共 建 物	0	0	0	1	0
そ の 他	4	-7	-1	58	-7
合 計	37	0	12	282	-11

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、37件(前年同月比0件)。工種別内訳の増減(前年同月比)は、一般住宅(併用)で+6件、共同住宅で+1件、作業所・工場で+2件、事務所で▲1件、営業建物で▲1件、その他で▲7件となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が33件、一般住宅(併用)28件における市内・市外施工業者別の確認申請は、市内施工業者が7件(新築5件・増築1件・改築1件)、市外施工業者が21件(新築20件・増築1件)となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	67,141	1.49	0.11	15,182	-3.80	-2.94
電 力	9,311	-2.48	-0.11	37,144	-0.75	-6.86

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比+991口(+1.49%)、前月比+77口(+0.11%)と増加しているが電力においては、前年同月比▲237口(▲2.48%)、前月比▲11口(▲0.11%)となっている。

使用量は、電灯が前年同月比▲601kwh(▲3.80%)、前月比▲461kwh(▲2.94%)といずれも減少している。同様に電力でも、前年同月比▲281kwh(▲0.75%)、前月比▲2,740kwh(▲6.86%)といずれも減少している。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	682,912	-1.94	14.03	674,410	-1.13	-6.02
営 業 用	145,769	-5.53	-18.78	115,657	0.73	-10.33
工 業 用	720,075	-3.73	-14.30	110,051	-0.83	-11.36
官 公 学 校 用	177,182	-10.38	-20.42	70,893	-3.23	-7.80
そ の 他				20	-82.60	-92.15
合 計	1,725,938	-3.92	-6.26	971,031	-1.05	-7.33

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計で前年同月比▲70,551m³(▲3.92%)、前月比▲115,319m³(▲6.26%)となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比は全ての用途で減少し、前月比では家庭用を除く用途で減少している。

一方、水道給水量は、前年同月比▲10,306m³(▲1.05%)、前月比▲76,906m³(▲7.33%)となっている。用途別内訳は、前年同月比では営業用を除く全ての用途で減少し、前月比では全ての用途で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	66,025	-22.17	-22.01	88,524	0.89	1.42
西 山	42,499	2.69	3.36	38,918	3.24	2.49
米 山	22,106	4.96	3.76	20,311	2.13	1.31
合 計	130,630	-11.30	-11.18	147,753	1.67	1.68

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の高速道路出入口での交通量は、入口が全体で前年同月比▲16,649台(▲11.30%)と減少し、前月比でも▲16,450台(▲11.18%)と減少している。

出口においても、全体で前年同月比は+2,433台(+1.67%)と増加し、前月比でも+2,455台(+1.68%)と増加している。

インター別の前年同月比および前月比を見ると、柏崎インター入口で減少しているものの、その他のインターで入口・出口共に増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
10 月 末	383,499	3.45	1.61	148,607	2.39	-0.94
10 月 平 均	381,159	2.24	0.30	148,436	3.41	-0.29

預金は、10月末残高が前年同月比+12,822百万円(+3.45%)、前月比+6,103百万円(+1.61%)といずれも増加している。平均残高についても、前年同月比+8,356百万円(+2.24%)、前月比+1,149百万円(+0.30%)と増加している。

貸出金は、10月末残高が前年同月比で+3,470百万円(+2.39%)と増加しているが、前月比は▲1,417百万円(▲0.94%)と減少している。平均残高についても、前年同月比は+4,900百万円(+3.41%)と増加しているが、前月比では▲436百万円(▲0.29%)と減少している。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	18,731	-18.19	-12.19
交 換 金 額	13,686	-28.01	-18.58
不 渡 り 手 形 枚 数	7	0.00	75.00
不 渡 り 手 形 金 額	2	0.00	-36.84

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比▲4,167枚(▲18.19%)、前月比、▲2,601枚(▲12.19%)、また、交換金額は、前年同月比▲5,328百万円(▲28.01%)、前月比▲3,125百万円(▲18.58%)となっている。なお、不渡手形は7件・2百万円発生している。

法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は、4件(前年同月1件・前月11件)、負債総額1.1億円(同1.0億円・同9.6億円)となっている。地区別では上越地区で2件(上越市)、中越地区で1件(長岡市1件)、下越地区で1件(燕市1件)発生している。業種別では建設業・卸売業でそれぞれ1件発生、サービス業で2件発生しており、倒産原因の状況は販売不振3件・放漫経営1件となっている。

金融庁が9月に発表した平成27年度の「金融行政方針」では、市場の公正性・透明性、金融システムの健全性の維持や、IT化・国際化への対応などを重点政策に掲げており、不良債権処理方針や中小企業への融資および支援姿勢はこれまでと大きく変わらないだろう。その一方で為替は円安に振れているものの、新興国を中心とする海外経済の先行き不透明感は払拭されていない。